

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス事業所やっほ〜クラブ		公表日		2025年 2月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	6		・活動スペース(個室・ホール)があるので、用途にあった活動を設定しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・配置基準に沿った職員数と様々な経験を持った職員がいるので、アイデアを出し合い、臨機応変に対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・利用児が落ち着いて過ごせよう環境設定しています。ロッカーに名前を貼ったり、活動内容をホワイトボードにイラスト、文字入りで掲示したりと視覚支援の工夫をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・空気清浄機、換気窓を活用しながら心地よく過ごせる環境を設定しています。 ・定期的にこどもと一緒に掃除を行う機会を設定して、みんなで過ごしやすい場作りをしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個室以外に活動に応じてパーテーションや仕切り板を活用して、個別のスペースを作り工夫をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・支援プログラムの振り返りやサービス評価、アンケートの記入をお願いし、業務改善に繋がっています。	・広く職員が参画でき、意見を反映されていくようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者からの意向を把握するために、サービス評価の他に支援等についてのアンケートを実施して、その内容を業務改善に繋がっています。	・定期的に保護者が参加できる会や親子で参加できる行事を企画しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・会議以外にも毎朝ミーティングを行い、共通理解しています。	・決定事項を伝えるだけでなく、多くの職員の意見を聞き、業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		・第三者委員会以外にも外部評価を受ける機会を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・職員の資質向上の為に可能な限り参加できるような時間帯を設定して、学びの機会を確保しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・こどもの行動状態に応じたアセスメントツールを活用して、支援に反映させていきます。	・ツールを利用しつつ、本人や保護者とも共通理解も図り、支援や計画に活かしていきます。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・立案はチームで行い、通年で行う活動もプログラム化しています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・同じ活動でもこども達の反応、技量を見ながら内容を調整しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・一日のスケジュールの中でも個別場面、集団場面を設定しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・打ち合わせの時に予定、支援内容を周知できるように、ボードにスケジュールを書くなどわかるように工夫しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・送迎や勤務形態により、その日は難しいが翌日には情報共有をしています。 ・緊急性の高いことに関してはSNS等を通じて情報共有をしています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日々の記録以外に、一か月で記録をまとめ、検証・改善に繋げるようにしています。	・記録のまとめをより日々の支援に反映させていくようにしていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・4つの基本活動を組み合わせた支援プログラムを設定しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・用具や遊びの選択からお出かけでの行き先や食事のメニュー選びなど活動に応じてこどもが自己選択できる場面を設定しています。	・自己選択ができるように提示の仕方について検討していきます。

26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・関係機関と連携を図る体制を整えています。	・支援時間が異なることで、会議時間の設定が難しいことがあるので、連携のやり方について検討していきます。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			・依頼があった場合に情報提供していきます。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・同法人内の専門職員からベアトレ等、研修を受ける機会を設けています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		・地域で開催しているイベントに積極的に出向き、参加する機会を設けています。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			・園長、管理者以外でも参加するようにしていきます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・年に2回面談の機会を設け、デイサービスの様子や家、学校での様子に情報共有しながら、共通理解をしていきます。	・面談以外でも保護者からの要望、事業所で状況を共通理解を図りたいときは都度、面談の機会を設けていきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・家族が参加できる研修の機会や情報共有を図る場を設定していきます。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・運営規定、支援プログラム、利用者負担等について説明会を実施して伝えています。	・説明会に参加できない保護者に対しては個別で伝えていきます。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・年2回面談する機会を設定しているが、必要に応じて、面談ができる体制を整備していきます。	

保護者への説明等

40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			・参加する保護者が決まってしまうので、多くの方が参加できるように設定していきます。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情があった場合に迅速に対応できる体制を整備しています。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・SNS等を活用しながら、子どもや保護者に対して発信しています。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の取り扱いについて、会議等で留意するように周知しています。	
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・情報共有を図るためにホワイトボードや掲示板、お便り等を活用しながら伝達しています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・広報誌を隔月で配布して、情報を発信しています。 ・おおしみず祭りや作品展など開催した際に地域にお知らせをしています。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		・マニュアルを策定して、説明会で保護者に周知しています。 ・避難訓練を定期的に実施しています。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	6		・案件があった際は会議で共有して対応についてルール決めをしています。	・ヒヤリハットがあった際に職員間で共有するシステムはできているが、全職員が提出できるように書式等含めて検討していきます。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修や未然防止の為に虐待防止委員会で話をして、職員会議で周知するようにしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			

非常時等の対応